

かけはし

令和5年度

発行 第5号

令和6年3月12日
厚木市教育委員会
社会教育課



地域で行う研修会から学んだこと

ひとしお寒さが厳しくなった1月31日（水）、推進員の方々に集まっていただき、情報交換及び意見交換を行いました。

今回の連絡会では、各地区で行った地域学校協働活動の研修会に参加してどう思ったか。また、開催していない地区は開催についてどう考えるか。今後の開催についてどう思うかなど話し合いました。



地域で行う研修とは

「地域学校協働活動」の理解と推進のため、本年度より公民館が中心になって、地区ごとに研修を行いました。

- 開催地区 南毛利（8/20(日)）、睦合南（9/3（日））、小鮎（11/27(月)）、厚木南（12/2(土)）
玉川（1/31(水)）
- 参加者 学校教員、地域の活動団体、推進員等
- 内容
 - ・「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進とは
～学校教育・地域社会それぞれの視点で考える～」
 - ・グループワーク「どんな子どもに育ててほしいか」など
- 講師 中川 洋太（統括コーディネーター）・青木 信二（森の里公民館地区館長）
- アドバイザー 森の里小学校推進員、毛利台小学校推進員



推進員連絡会の様子



地区研修会の様子



こんな意見がでました

- ・地域の方や学校の先生と研修会ができるのはいい機会だった。
- ・普段話す機会がない方と話しができ、お互いを知るいい機会だった。
- ・推進員として事例発表を行い、協働活動のイメージをもってもらえたのではないかなと思う。



今後開催するなら？

- ・平日の授業終わりの時間が、先生が集まりやすくてたくさんの参加がありよかったとの話をきいたので先生の参加しやすい時間がいいと思った。
- ・参加メンバーに子どもたちをいれてみてもいいかもしれない。

推進員からの報告・情報

(今回は小鮎、玉川、南毛利、森の里地区を掲載させていただきます。)

小鮎地区

・6年生に向けた授業を担当させて頂きました。少しでも多くの子ども達に夢や目標を持つことの大事さを伝えたいとの想いを学校の先生とも共有し、実現しました。謝恩会で子ども達が将来の夢を語りました。まだ夢がない子が多かったですが、その子達も中学で夢を見つけると話していました。【小学校】

・先日、小鮎地区3校のPTAと多くの地域の方々の協力のもと“いどばた逃走中”という(大規模な鬼ごっこ)イベントが開催されました。約300名の親子での参加があり、子ども達はとても楽しそうで大変盛り上がりました。【小学校】

・次年度に中学3年生を対象としたキャリア教育を開催するため学校といつもの地域とは違うママ友ネットワークを使って進めています。現役高校生にリアルな話を聞くことで進路を決めるひと役になれる様にがんばろうと思います。【中学校】

南毛利地区

児童会の「あいさつ運動」に初めて地域の方も参加し、お互いに元気よく挨拶を交わす事ができました！

3年生総合では、地域の方々に取材したり一緒にベンチ作りをしたり、学校と地域を繋ぐお手伝いができ嬉しい活動となりました。【小学校】



南毛利 あいさつ運動(上)
3年生総合(中・下)

玉川地区

・玉川地区では学校と地域の消防団との防災に対し3、4年生に出前講座を開催。玄関前に置かれた消防車や団員からの説明を実際に乗って楽しいひと時を過ごしました。【小学校】

・前回やりたい事としていた活動を少しずつ進めています。2月には生徒会との顔合わせを行えるよう日程調整を行っています。また1月には自治会の方や地域で活動されている団体の方々との交流を持つことができました。運営協議会では公民館を中心とした活動に生徒が参加し学べる仕組み作りを話し合うことが出来ました。【中学校】

森の里地区

・各学年、地域と協働で行われる授業が定着し進化しています。3年生は一学期のふくろう探検の学習(総合)を元に、児童のアイデアで地域の公園を清掃し、集めた落ち葉を利用して焼き芋を楽しみました。【小学校】

・地域事業の夏まつりや清掃では中学生ボランティアを募り生徒が地域で活躍する機会が出来ました。地域の梅見会への短歌の投稿や地域の方の美術作品の校内展示で学校授業からのつながりづくりも継続的に実施しています。【中学校】